

平成 30 年第 10 回 安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	平成 30 年 9 月 27 日（木）		
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター 3 階 大会議室		
開 閉 会 日 時	開 会	平成 30 年 9 月 27 日（木）午前 9 時 33 分	
	閉 会	平成 30 年 9 月 27 日（木）午前 10 時 29 分	
出席・欠席委員	出席委員	二見吉康・清胤祐子・河野義文・池野博文・河本千絵	
	欠席委員		
職務により会議に出 席 し た 者	生涯学習課長 上田 隆 学校教育課長 長尾航治 主幹 萩原英子 主幹 林健太郎 課長補佐 児玉裕子		
会議に付した事件及び採決結果	なし		
報 告 協 議 事 項	1 10 月の予定について 2 全国学力・学習状況調査の分析 3 児童生徒の携行品に係る配慮について 4 科学アカデミー（第 2 回）について 5 「ひろしま教育の日」関連事業について 6 その他		

【 議 事 録 】

日程第 1、開会

(午前 9 時 33 分開会)

教育長)

委員の皆さんおはようございます。秋らしい風になりましたが、台風 24 号が近づきつつあります。また、今後本州付近を通過する可能性もあるということでございます。もう一つは、ちょうど台風が来る頃に、福井国体がありますけれども、町内の出身の人や町内の高校生も多く出場するということでございますけれども、台風の関係で心配するところです。

学校の方は無事 2 学期を迎えまして、1 ヶ月が経過し落ち着いているところです。

それでは、本日の会議を開かせていただきますが、本日の会議議題等、議案はありませんがお手元にお示ししているとおりです。今日の議事や報告協議の中で公開になじまないものがあれば最後に回して審議したいと思いますけれども、ご意見等ございませんか。

(意見なし。)

無いようですので、日程のとおり会議を進めさせていただきます。

日程第 2、教育長報告

教育長)

(以下の項目について報告。)

1 8 ～ 9 月の学校等の状況

加計小学校学校運営協議会 (8 月 30 日)

9 月定例議会開会 (9 月 3 日 ～ 14 日)

安芸太田町科学アカデミー (9 月 15 日) 加計中学校パソコン教室

加計小・戸河内小運動会 (9 月 9 日) 加計高校体育館・戸河内ふれあいセンター

上殿小運動会 (9 月 9 日 15 日へ延期) 上殿小講堂

安芸太田町中学一年生合同合宿 (9 月 13 ～ 14 日) 国立江田島青少年交流の家

しわい馬拉ソン・ボランティア活動 (9 月 16 日) 加計中有志生徒

【予定】市町村教育委員研究協議会 (9 月 28 日) 岡山市

【予定】筒賀小学校 JRC 活動・防災教育研究公開 (9 月 28 日) 筒賀小

【予定】もみじウォーキング大会 (10 月 7 日) 深入山周辺

【予定】山県郡小学校陸上記録会：5・6 年生 (10 月 12 日) 北広島町運動公園

【予定】広島県市町教育委員会連合会研修会 (10 月 23 日) メルパルク広島：加計中発表

2 9 月定例議会対応について

河野義文教育委員の議会選任同意

一般質問

・津田議員

ア 小中学校における国旗国歌の取り扱いと取組状況について

イ 安芸太田町の教育の取り組み状況について「協調学習」「ICT教育」他

ウ 加計高校の存続・支援について

・佐々木（美）議員

ア スクールバスの効率的で柔軟な運営について

・大江議員

ア 津田議員の質問に係る教育長答弁の撤回と見解について

・富永議員

ア 働き方改革関連法案の改訂に伴う教職員の勤務実態について

イ 学習指導要領の取組みについて

・吉見議員

ア 加計高校の支援と将来展望について

・田島議員

ア ICT 機器整備に伴う児童生徒等の VDT 等への配慮について

イ 平和を次世代に語り継ぐ対策について

・中本議員

ア 県立加計高校の支援について

3 2学期の取組みについて

学校における読書活動の充実を図る…全国学力学習状況調査から、「児童生徒の読書量の低下」をどう克服するか

研究大会，研究公開・地域公開の諸準備については，地域保護者だけでなく、町外からの学校視察者に対する気配りと，もてなしの心を～

「学校へ行こう週間」（11月1日～7日）の取組みの準備を

合同文化祭・学習発表会の取組み

中学3年生の学力向上・家庭学習の習慣化と宿題について

4 服務規律の徹底について

・交通事故の未然防止

・教職員による不祥事の未然防止

教育長）

私からは以上でございます。何かご質問等ございますか。

河野委員）

議員一般質問のあった加計高校の支援の寮の件についてですが、確かに加計高校を存続するためには大きな案件であろうと思います。そうした中で、この寮に入ってきた生徒の安全面での心配というのがあると思うんですけども、その責任者「寮長」というのはどうなっているのでしょうか。

教育長）

課長、どうでしょうか。

学校教育課長）

現状では、この川・森・文化・交流センターの運営を指定管理で受けている業者さんが、寮長という専門の職員ではないんですが、全体の宿泊の受け入れを行うところも含めて数名の職員であたっただけでいる状況です。この業者である株式会社ユースサービスさんと

協議する中で、今後においては、やはり学校の職員等の経験を有している等の専門の人材を確保して寮の運営をやっていきたいというお話をいただいているところです。

河野委員)

私が見たり聞いたりする中で、芸北分校等の寮では寮長がいて、ルールを守らしたりしているようなことで、安全第一ですから、そこらのことが今の体制で心配もありますので。

学校教育課長)

この件は、実は町長部局も交えて話しをしているんですけれども、この一般質問にあたって、全国的な取組みの状況というのも調べております。特に島根県では、こうした寮について、市町村や県、本来であれば県立高校であれば県がするのは当然ですけれども、お互いの自治体がタッグを組んで受け入れ体制というものを作り上げています。島根県吉賀町では、町営の交流センターを寮として、人材も含めて町が全面的に支援しているというようなこともありますし、広島県でも島しょ部等、同様な取組みも見受けられるといった状況の中で、本町の今の体制を単純に維持するということは、多少限界があるであろうということで、町長部局と株式会社ユースサービス、私どもの3者で協議をさせていただいたんですが、その中では、しっかり体制を整え、取り組んでいく必要があるであろう、それにあたっては指定管理のことと営業部門という部分もありますので、その折り合いも見ながら来年度の予算に反映していくことも必要となってくるであろう、という話しもさせていただいています。

河野委員)

高校生、家庭の様々な事情もあると思いますが、心揺らぐ世代じゃないかと思いますんで、やっぱり受け入れをしっかりとっておかんといけないという気がします。以上です。

教育長)

他に。池野委員。

池野委員)

関連ですが、現在この寮に17人いると聞いたんですが、出身地別にご報告をいただきたいと思います。

学校教育課長)

概要しか把握してないんですが、基本的には県内からです。広島市からの生徒が多いです。その中で、高校では全国公募も行っていますので、他県からも数名入寮しています。

池野委員)

河野委員からもありましたけれども、精神的に不安定な時期ですから、カウンセラー等も含めてご検討いただけたらと思います。

河本委員)

寮生活がどのようなものなのか具体的にわからないのですが、普通の寮といえば寮長がいて、門限があってとか、この時間にお風呂に入るとかあるじゃないですか。この場合は。

学校教育課長)

寮の運営に関して、直接教育委員会でタッチしているものではなく、加計高校を育てる会

に補助を行うことでの支援ですので、運営に関しては施設の管理を行う中でやってもらっています。具体的な中身で言いますと、学校とは切り離れた寮という考え方です。あえて言うならここ（川森）はお家という考え方です。ですから、高校の先生が立入ったりということもしていません。門限に関しては、施設管理者の方で設定をしています。もちろん4階に関しては宿泊者以外の出入りも禁止しています。

河本委員)

生徒に任せているということが大きいわけですね。

学校教育課長)

男女の部屋が同じフロアにあるといったりしていることは、管理者も気を使っている部分ではあります。

河本委員)

男女が同じ寮にというところはあまりないですよ。預ける親からすると少し気になるかもしれませんね。個室化したりするとなおのこと心配かもしれません。

学校教育課長)

寮を個室化した場合、なんらかの人的措置は必要になると考えられます。一方、高校側では、自制心とかそういったこと自体が教育という捉えもしています。ここで踏み込んだ話しをするのはどうかとも思うんですが、個室化することとした場合もですね、建築基準や消防法の関係もありますので、現在の川森の4階の部屋に間仕切りを全部入れるということとはできなくて、するとすればスプリンクラーが作動するよう上部をあけて間仕切りを設置するということになると思います。衝立というかネットカフェのようなイメージでしょうか。自分だけの空間が得られてそこで集中して勉強ができたりとかプライバシーを確保できたりとかいうことになるでしょうか。いずれにいたしましても、心配されているようなことについては、学校ではあまり心配していないという状況です。

河野委員)

今の話を聞いても実際の管理というのが、どこが責任を持つのか分らんし、私らの年代から見ると、もし事故でもあったりしたらと思うと私自身は納得ができません。やはり、せめて来年度からでも、先ほどのような体制をしっかりと整えてやっていただきたいと思います。

教育長)

島根県では、例えばバス・エアコン・冷暖房完備のワンルームで市のアパートを提供したり、あるいは大きな家に生徒数人でシェアハウスというの也有ります。寮の舎監を置くというような制度ではなく、かなり自由度の高い、自主性を重んじて自己責任でやっていくというのが市町でやっているものであって、県立の高等学校の寮として舎監を配置して管理するものではありませんし、どこをみてもそういうふうな状況にはなっていないようです。アパートを借りているというか、いわゆる学校寮とは違う捉え方でやっているものです。

河野委員)

私が思うのは、それは町あげての施策が今まであったのものだと思うんですよ。例えば吉賀町のは、交流センターにいろいろな施設機能が入ってきて、町がそうしたかたちをつくってきた、それに基づいて（寮を）やってきたものだと思うんですよ。言い方は適当でないかもしれませんが、加計高校では高校の存続というのと川森の施設の有効利用ということで始

めたものじゃないかと思うんですよ。私も吉賀町の例をよく知っているのです。あちらとは進め方とかがちょっと違うと感じますんで。まあ私のように古い考え方の人間がおりますんで、なかなか現代のやり方に慣れんところもあるんですが、受ける側が事故が無いように、親に代わる者が必要じゃないかと思いました。

学校教育課長)

実のところ、本町も最初のきっかけは副町長をトップとしたプロジェクトチームをもって「加計高校 GOGO プロジェクト」というものを企画して、高校の魅力アップ等に取り組んできた経緯があります。今回の寮の件についても補助金を拠出している関係上、教育委員会で議会答弁したところもあるんですけども、基本的には質問の相手先としては町長です。ですから、これはやはり町として全体で取り組んでいかないといけないということだと思えますんで、今おっしゃっていただいた中身については、我々事務局もそうした視点を持ちながら、進めるとすれば町長部局ということになりますので、意見も申し述べながらより良い形となるよう進めていきたいと思えます。

教育長)

はい。池野委員どうぞ。

池野委員)

保護者は、入寮前は関心を持っているでしょうし、そういう機会もあるでしょうから意見交換ということができると思うんですが、入学してから例えばそうした不安に答えられるような場が持てればという気もしますが。

学校教育課長)

そうですね。今おっしゃっていただいたことは、加計高校で行っています。義務教育学校と離れていく部分ですから、もちろん私どもの所管ではないんですけども、話を聞いている中では、PTA や地区懇談会でそういった意見交換はなされているとのことです。この部分は安心いただければと思います。

教育長)

よろしいでしょうか。はい、清胤委員。

清胤委員)

別の項目についてです。しわいマラソンのことなんですが、今年は無事開催できたこと、それから防災無線で実況中継とかもあって町内のみんながワクワクしながら応援できたこと、ボランティアで加計中学校の生徒さんが活躍されたこと、それから町内のランナーの方も結構いらしたと聞きました。このランナーの方の結果と運営が無事に事故なくされたのか、そのあたりをお聞きしたいんですが。

生涯学習課長)

生涯学習課に結果の一覧が届いておりますので、また提供させていただきますのでご覧いただければと思います。運営の方ですが、実行委員会がすべてを行っています。生涯学習課では(体育協会として)駐車場整理の担当として当たらせていただきました。順調にいったと思っております。以上です。

教育長)

他にありませんか。よろしいですか。

日程第3、報告・協議

教育長)

1「10月の行事予定について」生涯学習課から説明をお願いします。

生涯学習課長)

(行事予定等について説明をする。)

教育長)

10月行事等について報告がございました。何かありませんか。

それでは続いて学校教育課から、2 全国学力・学習状況調査保護者調査の分析についてお願いします。

萩原主幹)

(全国学力・学習状況調査保護者調査の分析からみる考察等について説明する。)

教育長)

何かお気づきがあれば。よろしいですか。

3 児童生徒の携行品に係る配慮について、説明をお願いします。

萩原主幹)

(文部科学省通知に基づく児童生徒の携行品に係る配慮について説明する。)

教育長)

具体的な工夫例も記載がありますが、これが全てではないですが、学校に聞けばこれに近いこともいくつか取組みがされているようです。何かお気づき等ありませんか。また、学校に行かれる機会があれば、ロッカー等を見てみたりしてください。

次に、4 科学アカデミー(第2回)について説明してください。

林主幹)

(9月15日開催の科学アカデミーの状況等について説明する。)

教育長)

何かありますか。清胤委員。

清胤委員)

アカデミーでこういうの(プログラミング)をされたのは、非常に良かったと思います。アンケートの回答率で100%ということも滅多にないことで、本当に嘘なく正直に「姉に強制的に参加させられた」とか答えていてくれて、また自由記述を見ると本当に楽しかったんだろうなということ、自分事として参加できて、ちゃんと収穫もあったということがよく分かりました。呉高専の生徒さん7名も講師にあたっていたいたとお聞きしましたが、自分たちと年代の近い方に直に教えてもらったり、「高校生になったらこんなこともできるようになるんだ」という道が見えてきて楽しかったんじゃないかと思います。すばらしい企画

をありがとうございました。

教育長)

はい、ありがとうございました。よろしいですか。

5 「ひろしま教育の日」関連事業について、お願いします。

萩原主幹)

(ひろしま教育の日の関連事業、フォーラム開催等について説明する。)

教育長)

他に。よろしいでしょうか。

以上で報告協議の事項はすべて終わりました。委員の皆さんで他に何かあれば。よろしいですか。

それでは次回の日程について、事務局からお願いします。

萩原主幹)

次回は10月22日15時00分開会で予定させていただきます。

教育長)

以上で第10回安芸太田町教育委員会会議を終了いたします。ありがとうございました。

(午前10時29分 閉会)